

第40回 通常総会資料

平成28年6月15日(水)

名古屋市中村区名駅1丁目2-4

名鉄グランドホテル11階

TEL 052-582-2211(代表)

全日本プラスチックリサイクル工業会

愛知県一宮市丹陽町伝法寺911-2

TEL 0568-77-4033

総会次第

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 総会成立宣言
4. 議長選出
5. 議事
 - 1) 第1号議案 平成27年度事業報告及び決算関係書類承認の件
(監査報告)
 - 2) 第2号議案 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
 - 3) 第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件
 - 4) 第4号議案 定款第3条 事務所の所在地の変更の件
6. 議長挨拶降壇
7. 万歳三唱
8. 閉会のことば

40周年記念講演会

1. 開会のことば
2. 講師紹介
3. 講演(約50分)
4. 講師お礼及び挨拶
5. 閉会のことば

懇親パーティー

1. 会長挨拶
2. 来賓祝辞
3. 乾杯
4. 中々

概況

平成28年度日本経済は、マイナス成長で始まりました。実質賃金の下落に加え、家計の体感物価の高まりによる消費の落ち込みが原因と見られます。その後も景気は足ふみ状態が続きました。世界経済は、米国の利上げ、中国経済の減速による資源価格の影響を受けて新興国経済が低迷、欧州もテロ、難民などの問題を抱え成長が鈍化しています。この影響を受け、後半の日本経済は株価の大幅下落、対ドル円の急上昇、個人消費の低迷で景気が冷え込みました。そのため売上げの減少などで厳しい経営を強いられています。

WTI 指標の原油安によるナフサ化下落でプラ原材料価格の低下は激しく、再生プラ市場は、全体的には価格競争力において、苦戦を強いられています。全日本プラリサイクル工業会では、自助努力により一般社団法人 産業環境管理協会 (JEMAI CLUB) によるカーボンフットプリントのあらゆる業界において初めての業界での原単位の取得ができました。又、各省庁のリサイクル材の JIS 化の流れを受けて、会員が認証委員会の招聘を受けて意見する場面も多く見受けられました。

京都議定書の流れを受けた COP21 パリ協定においても温室効果ガスの削減が全世界に割り付けられたこともあり、本年度プラスチックリサイクルの地球環境に貢献することが、従前より大きく期待されてきています。会員ともども協業しながら、生成発展していきたいと考えています。

2. 会員の移動

平成28年4月末現在

会員	区分	27年5月	28年5月	増減	摘要
関東プラスチックリサイクル協同組合		51	50	-1	
日本合成樹脂有効利用組合		5	5	0	
東日本プラスチック再生協同組合		25	23	-2	
愛知県プラスチックリサイクル協同組合		32	31	-1	
北陸合成樹脂商工会		4	4	0	
京滋プラスチックリサイクル工業会		10	9	-1	
関西プラスチックリサイクル商工会		14	14	0	
九州プラスチックリサイクル工業会		10	10	0	
個人会員		3	3	0	
合計		154	149	-5	

※会員の移動は5月初旬に調査依頼をします。ただし、特殊な賛助会員(金網、紙袋等共同購買会社)は、除外します。

3. 会議開催状況

(1) 総会

- イ. 開催日時 平成27年6月9日(火) 午後2時より
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 47名 (本人出席31名 (委任状16名)) / 総数52名

ニ. 議事の経過及び議決の結果

平成26年度事業報告及び決算を承認したあと、平成27年度事業計画及び予算案を議決した。そして、経費の賦課金徴収方法を議決し、常任理事及び理事を選出し役員改選をし、全議案を審議終了した。

(2) 第1回常任理事会

- イ. 開催日時 平成27年6月9日(火) 午前11時より
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 21名 + 事務局1名

ニ. 協議事項

1. 通常総第39回会及び懇親パーティーの役割分担について
2. 平成26年度決算報告、平成27年度予算案の審議について
3. 市況分析
4. その他

(3) 第2回常任理事会

- イ. 開催日時 平成27年11月12日(木) 午後3時より
- ロ. 開催場所 名古屋国際ホテル
- ハ. 出席者数 19名 + 事務局1名 [(委任状4名)・23名 / 23名]

ニ. 協議事項

1. カーボンフットプリント運営委員立ち上げについての承認決議について
2. 政府主導のリサイクル材のJIS化についての協業承認について
3. JPRAの40周年の記念事業の開催についての承認について
4. リサイクル推進協議会の表彰について
5. その他

*次回開催日時・場所の予定の確認について

*宇部興産(株)より保有するリサイクルコンパウンドに関する特許について

*40周年記念行事開催の会費徴収について

(3) 第3回常任理事会

- イ. 開催日時 平成28年3月9日(木) 午後2時より
- ロ. 開催場所 名鉄グランドホテル11階
- ハ. 出席者数 19名 + 事務局2名 [(委任状4名) 23名 / 23名]

二. 協議事項

1. 総会(40周年記念講演会)懇親会のタイムスケジュール及び役割分担
2. 40周年記念ゴルフコンペについて
3. CFP(カーボンフットプリント)について
4. JPRAのHPの運営管理について
5. リサイクル推進協議会の表彰について
6. 市況分析
7. その他

平成27年度 収支報告(予算・実績対比) 28. 4.30 現在

自 平成27年5月 1日

至 平成28年4月30日

全日本プラスチックリサイクル工業会

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要			
賦課金	1,064,000	1,064,000	0	関東 51	357,000	日本有 5	35,000
参加費収入	50,000	70,000	20,000	東日本 25	175,000	愛知 32	224,000
			0	九州 8	56,000	北陸 4	28,000
受取利息	1,000	221	-779	関西 14	98,000	京滋 10	70,000
その他収入	0	1,954	1,954			個人 3	21,000
前年度繰越予備費	1,296,164	1,296,164	0			計 152	1,064,000
合 計	2,411,164	2,432,339	21,175				

支出の部

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要	
教育情報費	100,000	42,000	-58,000	予実	業界懇談会費用 CFP政策検討委員会とWG合同懇親会費
調査研究費	350,000	252,000	-98,000	予実	調査費(CFP関係 350,000円、他) 産業環境管理協会 CFP取得支援及び検証料
議費	900,000	959,607	59,607	予実	第39回通常総会費 常任理事会 第39回通常総会・懇親会・27/11臨時常任理事会・27/3常任理事会
福利厚生費	30,000	10,000	-20,000	予実	慶弔費 入院見舞金
通信費	5,000	0	-5,000	予実	郵便料 無し
広告宣伝費	200,000	63,850	-136,150	予実	レンタルサーバー費及びホームページ管理料 その他 ホームページ管理料63,850円
事務所経費	50,000	55,335	5,335	予実	事務費 事務費・署名版作成及び縦L型テーブル用名札
支払手数料	5,000	3,996	-1,004	予実	振込手数料 等 振込手数料6件分
旅費交通費	50,000	0	-50,000	予実	交通費 無し
雑費	50,000	0	-50,000	予実	その他諸経費 無し
その他支出		0	0	予実	
翌年度繰越予備費	671,164	1,045,551	374,387		普通預金 1,095,551円 未払経費 -50,000円 含む
合 計	2,411,164	2,432,339	21,175		

会計監査報告書

平成27年度決算報告について厳正に監査した結果、別紙収支報告の通り間違いないことを報告いたします。

平成28年度6月15日

全日本プラスチックリサイクル工業会

監事 二井 真



自 平成28年5月 1日
至 平成29年4月30日

1. 基本方針

原油の下落により、1年前よりナフサ価格が半額になり、リサイクル原材料が新材やOG材より高くなっている現状があります。今後はこの価格が常態化する可能性もあります。

この現状を打破するため、リサイクル材の社会的な価値を増大する活動の推進に努めるべきと考えます。政府主導の動きとしては、今年度プラスチック再生事業の生産プロセスに関するJIS化の承認が成されます。そして、全日本としては、昨年度全業種の中で初めて、業界としてのカーボンフットプリント(CFP)原単位の取得ができ、更に今年度には対象樹脂の拡大をして参ります。

COP21の流れを受けて、クールチョイスという社会啓発運動や各有力メーカーが次々に環境プランを打ち出すなか、リサイクルプラスチック材の必要性が益々増大していきます。

限りある資源の有効活用を通じて、循環型社会の形成のために私たち会員企業が連携し社会の発展に貢献していきたいと思っております。

2. 事業計画

(1)組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性化を図る。

(2)広報宣伝活動

業界紙に広告を掲載する。

ホームページを活用する。

(3)交流、情報交換、教育活動

①業界懇親会開催

業界の現況、今後の見通し及び当面する諸問題(特に環境・リサイクル関連)について情報交換を行い、検討・協議するため懇親会を開催する。

②関係団体等開催の講習会への参加

(4)関係官庁、団体との連絡

経済産業省化学課

日本プラスチック工業連盟

(一社)プラスチック循環利用推進協会

日本プラスチック有効利用組合

中国国家質量検験検疫総

平成28年度 収支予算・(案)

自 平成28年5月 1日

至 平成29年4月30日

全日本プラスチックリサイクル工業会

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要			
賦課金	1,043,000	関東 50	350,000	日本有 5	35,000
参加費収入	100,000	東日本23	161,000	愛知 31	217,000
		九州 10	70,000	北陸 4	28,000
受取利息	250	関西 14	98,000	京滋 9	63,000
参加費収入・役員	105,000	40周年・総会特別会費		個人 3	21,000
前年度繰越予備費	1,045,551	普通預金 1,095,551		計 149社	1,043,000
		未払経費 -50,000			
合 計	2,293,801				

支出の部

科 目	金 額	摘 要	
教育情報費	100,000	業界懇談会費用(講演・講師お礼等)	
調査研究費	100,000	調査費	
会議費	1,000,000	第40回通常総会会費・常任理事会(H29/3/8)	
福利厚生費	30,000	慶弔費	
通信費	5,000	郵便料	
広告宣伝費	635,000	業界紙広告(エンプレエス70・ホームページ見直、管理料565)	
事務費及び消耗品	55,000	事務費 等	
支払手数料	5,000	振込手数料 等	
旅費交通費	50,000	交通費	
雑費	50,000	その他諸経費(総会来賓手土産等)	
翌年度繰越予備費	263,801		
合 計	2,293,801		

第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件(案)

※定款第12条

- ・本会は、その行う事業の費用(使用料又は、手数料をもって充てるべきものを除く)に充てるための会員に経費を賦課することができる。
- ・前項の経費の額、その徴収の時期及び方法その他必要な事項は、総会において定める。

※会費 金7,000円/一社 ※時期—総会后3ヶ月以内

※方法は振込手数料を差し引かない。個人会員は除き各団体単位。

第4号議案 定款第3条事務所の所在地の変更の件(案)

(事務所の所在地)

第3条 本会は、事務所を東京都内に置く。

変更 本会は、事務所を愛知県内に置く。

(施行期日)

第36条 この定款は、昭和54年6月13日改正施行する。

平成16年6月22日一部改正

追記 平成28年5月15日一部改正

※ リサイクル推進協議会の表彰について

ブロックによって会員数が異なるため、公平性という立場から五つのグループに再編し、そのグループ中で協議してもらい推薦する。

平成28年5月4日末現在

年度	グループ	各ブロック名(会員数・・・多少増減はあります)
H30年度	A	関東プラスチック(50社)
H31年度	B	東日本プラスチック(23社). 日本有効(5社)
H32年度	C	愛知県プラスチック(31社)
H28年度	D	北陸合成(4社). 九州プラスチック(10社). 個人会員(3社)
H29年度	E	関西プラスチック(14社). 京滋プラスチック(9社)

計149社

グループの動き(A→B→C→D→E)

H28年度はグループD(北陸、九州、個人) キワ化学工業(株)代表取締役 武田大輔氏に決定しました。

※H29年度は、グループE(関西、京滋)にて選出をお願いします。

尚、文章作成に時間を要するので平成28年6月15日(水)第1回常任理事会にて決定する必要有り。

平成29年度 ブロックE()会社名()